

創造・参加・実践
No.778

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (http://www.jrw-union.gr.jp)

JR西労組
LINE@
新規登録受付中
「友だち追加」から「ID検索」または「QRコード」で登録!
@dzc0159s

WEST UNION

西日本旅客鉄道労働組合
〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号
西阪急ビル9階
TEL 06-6375-9869(代)
FAX 06-6373-4133
発行責任者 羽野 敦之
編集責任者 白井 聖二



常任委員、委員、来賓、準備地本、傍聴含めて約140名が集結した



高杉新青年女性委員長の
団結ガンバロー



議長団に選出された、砂口委員(右)と
尾湯委員(左)

JR西労組中央本部青年女性委員会 「第35回定期委員会」開催!

李澤委員長から高杉委員長へバトンタッチ 現場の声と未来への提言が交差する2日間

JR西労組中央本部青年女性委員会は、10月13日(月)～14日(火)、オリエンタルホテル福岡博多ステーションにおいて、JR西労組中央本部青年女性委員会「第35回定期委員会」を開催し、常任委員、委員、来賓、準備地本、傍聴含めて約140名が集結した。

冒頭、福岡山線列車事故をはじめとする鉄道事故、鉄道労働災害でお亡くなりになられた御霊に哀悼の誠を込め、黙祷を行い、その後、準備地本を代表して福岡地方本部青年女性委員会の後藤委員長から歓迎の挨拶と福岡の魅力、青年女性委員会活動の意義について紹介があった。

議長団には、砂口委員、米子地方本部と尾湯委員、福岡地方本部を選出し、議事が進められた。

初めに、中央本部青年女性委員会を代表して李澤青年女性委員長が、鉄道業界をはじめとする鉄道事故、鉄道労働災害でお亡くなりになられた御霊に哀悼の誠を込め、黙祷を行い、その後、準備地本を代表して福岡地方本部青年女性委員会の後藤委員長から歓迎の挨拶と福岡の魅力、青年女性委員会活動の意義について紹介があった。

来賓として、JR西労組議員団会議より、事務局長の柿本議員(広島県議会)、幹事の羽良議員(那珂川市議会)、坪田議員(福岡県議会)、JR連合青年女性委員会より、石川事務局長、豊島小林幹事、JR西日本連合青年女性連絡会より、屋敷田大星副代表幹事、明治安田生命より、角部長、こくみん共済coopより、石橋課長、藤村担当をお招きし、祝辞を受けた。

また、JR西日本連合青年女性連絡会大星副代表幹事、明治安田生命角部長、こくみん共済coop石橋課長、藤村担当が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

議長、池田副委員長、古屋副委員長が選出され、2025年度の常任委員会体制が確認された。最後に高杉新青年女性委員長が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

冒頭、主催者を代表して羽野執行委員長が挨拶を行い、E-Xでは羽野執行委員長、川原副執行委員長、川端書記長から、専従者に期待するところを述べた。

また、グループディスカッションでは、各地方本部本社、専従者のみなさま、新専従者のみなさま、二日間本場にお疲れ様でした。

出席し、代表して羽野委員長から直近の経営状況、安全確立に向けた取り組み、青年女性組合員に対する激励や連帯の挨拶が行われた。

議長では、渡邊副委員長から24年度活動経過報告、高杉事務局長から活動方針(案)の提起がなされ、全体質疑では、31名の委員から安全、青年女性委員会のあり方、春闘・手当関係、労働協約、業務課題、バスの課題、役員育成、男女平等参画、要員需給、被服の改善、ハラスメント対策など、82項目について建設的な発言があり、熱い議論を交わした後、高杉事務局長の総括答弁があり、提案された活動方針が満場致で採択された。

役員改選では、李澤委員長、宮崎副委員長、藤田副委員長が退任し、新たに高杉委員長が就任した。

冒頭、主催者を代表して羽野執行委員長が挨拶を行い、E-Xでは羽野執行委員長、川原副執行委員長、川端書記長から、専従者に期待するところを述べた。

また、グループディスカッションでは、各地方本部本社、専従者のみなさま、新専従者のみなさま、二日間本場にお疲れ様でした。

議長、池田副委員長、古屋副委員長が選出され、2025年度の常任委員会体制が確認された。最後に高杉新青年女性委員長が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

出席し、代表して羽野委員長から直近の経営状況、安全確立に向けた取り組み、青年女性組合員に対する激励や連帯の挨拶が行われた。

議長では、渡邊副委員長から24年度活動経過報告、高杉事務局長から活動方針(案)の提起がなされ、全体質疑では、31名の委員から安全、青年女性委員会のあり方、春闘・手当関係、労働協約、業務課題、バスの課題、役員育成、男女平等参画、要員需給、被服の改善、ハラスメント対策など、82項目について建設的な発言があり、熱い議論を交わした後、高杉事務局長の総括答弁があり、提案された活動方針が満場致で採択された。

役員改選では、李澤委員長、宮崎副委員長、藤田副委員長が退任し、新たに高杉委員長が就任した。

冒頭、主催者を代表して羽野執行委員長が挨拶を行い、E-Xでは羽野執行委員長、川原副執行委員長、川端書記長から、専従者に期待するところを述べた。

また、グループディスカッションでは、各地方本部本社、専従者のみなさま、新専従者のみなさま、二日間本場にお疲れ様でした。

議長、池田副委員長、古屋副委員長が選出され、2025年度の常任委員会体制が確認された。最後に高杉新青年女性委員長が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

ユニオンカレッジ特設「新任専従者コース」

中央本部は2025年10月10～11日、アイティランにおいて、ユニオンカレッジ特設「新任専従者コース」を開催した。

各地方本部本社総支部大会での役員改選にて新たに指定された専従者12名が出席し、専従者としての心構えや心得、JR西労組、JR産業の課題解決に向けて取り組みを、確認し合い共有と交流を図った。

冒頭、主催者を代表して羽野執行委員長が挨拶を行い、E-Xでは羽野執行委員長、川原副執行委員長、川端書記長から、専従者に期待するところを述べた。

また、グループディスカッションでは、各地方本部本社、専従者のみなさま、新専従者のみなさま、二日間本場にお疲れ様でした。

議長、池田副委員長、古屋副委員長が選出され、2025年度の常任委員会体制が確認された。最後に高杉新青年女性委員長が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

冒頭、主催者を代表して羽野執行委員長が挨拶を行い、E-Xでは羽野執行委員長、川原副執行委員長、川端書記長から、専従者に期待するところを述べた。

また、グループディスカッションでは、各地方本部本社、専従者のみなさま、新専従者のみなさま、二日間本場にお疲れ様でした。

議長、池田副委員長、古屋副委員長が選出され、2025年度の常任委員会体制が確認された。最後に高杉新青年女性委員長が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

冒頭、主催者を代表して羽野執行委員長が挨拶を行い、E-Xでは羽野執行委員長、川原副執行委員長、川端書記長から、専従者に期待するところを述べた。

また、グループディスカッションでは、各地方本部本社、専従者のみなさま、新専従者のみなさま、二日間本場にお疲れ様でした。

議長、池田副委員長、古屋副委員長が選出され、2025年度の常任委員会体制が確認された。最後に高杉新青年女性委員長が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

冒頭、主催者を代表して羽野執行委員長が挨拶を行い、E-Xでは羽野執行委員長、川原副執行委員長、川端書記長から、専従者に期待するところを述べた。

また、グループディスカッションでは、各地方本部本社、専従者のみなさま、新専従者のみなさま、二日間本場にお疲れ様でした。

議長、池田副委員長、古屋副委員長が選出され、2025年度の常任委員会体制が確認された。最後に高杉新青年女性委員長が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

冒頭、主催者を代表して羽野執行委員長が挨拶を行い、E-Xでは羽野執行委員長、川原副執行委員長、川端書記長から、専従者に期待するところを述べた。

また、グループディスカッションでは、各地方本部本社、専従者のみなさま、新専従者のみなさま、二日間本場にお疲れ様でした。

議長、池田副委員長、古屋副委員長が選出され、2025年度の常任委員会体制が確認された。最後に高杉新青年女性委員長が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

冒頭、主催者を代表して羽野執行委員長が挨拶を行い、E-Xでは羽野執行委員長、川原副執行委員長、川端書記長から、専従者に期待するところを述べた。

また、グループディスカッションでは、各地方本部本社、専従者のみなさま、新専従者のみなさま、二日間本場にお疲れ様でした。

議長、池田副委員長、古屋副委員長が選出され、2025年度の常任委員会体制が確認された。最後に高杉新青年女性委員長が、青年女性委員長としての力強い団結を誓った。

李澤青年女性委員長挨拶(要旨)

みなさん、こんにちは。中央本部青年女性委員会委員長の李澤です。本日は第35回定期委員会にご参集いただき、誠にありがとうございます。会場準備・運営を担っていただいた福岡地本の皆様、そして日頃より青年女性委員会活動にご支援いただいているご来賓の皆様にご心より感謝申し上げます。

この一年間、青年女性委員会活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。委員長としての2年間に振り返り、各地本・総支部の皆様の積極的な参画により、活動が実りあるものとなったことを実感しています。

① 安全の確立について

安全は最優先課題です。福岡山線列車事故以降に入社した私たち青年女性委員会世代は、事故を知らないからこそ学び、理解する責任があります。安全は確約されたものではなく、日々の注意とルールへの遵守によって守られるものです。現場で守りにくいルールがあるならば、それを変える議論を行うことも現場の責務です。「安全お守り手帳」やABC運動、「確認ですが」の声掛けなど、日常の中で安全を意識した行動を徹底し、世界一安全なJRを目指しましょう。

② 政治活動について

政治は無関係でも無関係ではられません。参議院選挙や地方議会選挙において、JR西労組議員団会議所属の候補者が当選を果たすなど、組合員の支援が成果に繋がっています。公共交通を守るためには、国の制度や仕組みの後押しが不可欠です。働く仲間と地域の未来を守るため、政治との関わりを深め、まずは投票に行くことを呼びかけます。

③ 春季生活闘争・労働協約改訂交渉について

2025春闘では「人材の確保と定着」「採用競争力の強化」「賃上げが当たり前の社会」を掲げ、ベースアップ12,200円、年間臨給5.3ヶ月などの成果を勝ち取りました。25労働協約では青年女性組合員からの要求も多く反映され、保存休暇の見直しや制度改正など、少数の声にも光が当たる交渉を展開しました。定期委員会の重要性も会社に認識され、今後は構成員一人ひとりが主役となる議論の場として、より責任ある取り組みが求められます。

④ 組織・青年女性委員会活動について

青年女性委員会は約5,700名、JR西労組の約20%を占める大きな組織です。新入社員の加入も進み、「仲間づくり」が最大の目的です。一方で、組織が大きくなるほど情報が届きにくくなる課題もあります。職場で孤立している仲間はいないか、日々の声掛けを通じて支え合う関係性を築くことが重要です。そして役員活動を通じて得られる経験は、社会人としても大きな財産になります。

今年はユーススピリット2025を島根県出雲市で開催し、グループ労組を含め多くの仲間が集いました。こうした活動を通じて、同世代やグループ会社との繋がりが生まれ、労働組合の価値を再認識する機会となりました。全国を行脚する中で、青年女性委員会のような活動ができる組合は少数であり、他組合からも羨ましがられる存在であることを実感しました。

活動には困難もありますが、それを乗り越えることで得られるものは大きく、自然と誰かのためになっていることもあります。難しく考えすぎず、まずは楽しく活動することを大前提に、限られた青年女性委員会の期間を大切に過ごしていただきたいと思います。